

こもれび



今号の表紙：デイケア・病棟の患者さんの作品 タイトル「ツバキ」

新年のごあいさつ

理事長・院長 横田 周二

九州集団療法研究会レポート

病気のおはなし

子どもの「うつ病」

病棟紹介

南3病棟

そよ風家族会通信

活動紹介

臨床心理のしごと

こもれびリレーエッセイ

第4回・南精治

こもれびぶんぎ

「精神保健福祉大会」

KOMOREBI
2012.Winter
vol.32

あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。

向陽台病院は今年で49歳になります。来年は50歳の節目の年で、今までの半世紀弱の期間に、病院が何を成して、何を成しえなかったかを、確認するのに残された1年だと思っています。新しく試みたこと、古くなり時代に沿わなくなり中止したこと、それぞれの区切り区切りで先達を含め、いまいる私たちが、工夫や苦渋の中での選択をしてきたのだと思います。次の半世紀に、社会の中でどんな位置づけをして、未来へ繋いでいくかを考えています。

昨年1年間を振り返りますと、病院におきましては11月19日(土)に第37回九州集団療法研究会が当院で開催されました。この大会運営が、皆さまのご協力のおかげで多くの参加をいただき、何とか大きな事故もなく無事に終了できましたこと、紙面をお借りして御礼申し上げます。

この大会を通じて、やはり周囲のご協力をいただいて「私たちは支えられている」という実感、準備なしには終わらない、ある種お祭りのような「大きな仕事だった」という感覚がありました。また、手前味噌になりますが、準備や当日のスタッフの動きを見て「これほど動けるのだ」と感嘆し、当院スタッフの可能性も見せてもらった感じがしました。

また、福祉事業部門では、昨年7月にそれまで共同住居として使用していた施設を、4か所目のグループホームとして申請し運営を始めました。今年も新しい障害者雇用場を作るために、一層の営業活動を展開していきたいと考えています。ひいては、それが地域への啓蒙活動に繋がることを期待して邁進したいと思っています。

今年も皆さま方には多々ご迷惑をおかけすること存じますが、私たちは地域へ還元できる形を模索しながら勉強していきたいと思っています。

今年もよろしくお願い申し上げます。



平成24年 元旦
医療法人横田会 向陽台病院 理事長・院長
横田 周三

九州集団療法研究会レポート

リハビリテーション部

精神保健福祉士 岩井 佑美

今回は、当院が担当病院となり、1年前から開催準備を行ってきました。開催病院なので、1題でも発表を...と話が持ち上がり、私が「社会復帰への取り組み」について発表させていただくことになりました。この研究会の特徴として、1題の発表に2時間半設けられていて、フロア・ディスカッションで理解を深めていきます。

今回、当院が担当病院となり、1年前から開催準備を行ってきました。開催病院なので、1題でも発表を...と話が持ち上がり、私が「社会復帰への取り組み」について発表させていただくことになりました。この研究会の特徴として、1題の発表に2時間半設けられていて、フロア・ディスカッションで理解を深めていきます。

一本松すずかけ病院・看護師

藤瀬さんの司会進行の下、のぞえ総合心療病院の坂口先生がコメンテーターをしてくださり、発表はライブスコーピービジョンながらでした。何ごとも、きれいごとで済ませずに、病院で取り組んでいるその背景(スタッフ自身の想いや人間関係)なども丁寧に考察していくことが、まさに「治療共同体」につながるのだと感じました。また、スタッフと患者さんが互いに情報を共有し、考えていくことが重要であると学びました。

それから、社会復帰への取り組みは、地域の中で病院がいかに関与していくかが重要であるとの示唆もいただき、今後の取り組みに生かしたいと思いました。ディスカッションの中でいろんな気づきをいただきました。ありがとうございました。

それら、「国の政策と当院の社会復帰の取り組みは連動しているけれども、うまくかみ合わないことがある。スタッフの成長と病院の成熟も関係している...」などと、一人悶々と原稿



子どもの「うつ病」

子どもはうつ病にならないと信じていませんか？
子どものうつ状態はいろいろな原因が考えられます。
まずは児童精神科の専門医に相談してください。

子どもなのにうつ病？

以前は子どものうつ病は専門家の間でさえもあまり認識されていませんでした。しかし、最近の調査では思ったよりもずっと多くの患者さんがいることが分かってきました。小学生で1〜2クラスに1人、中学・高校生では1クラスに1〜4人にもものぼるという報告があります（有病率は児童期0.5〜2.5%、青年期2.0〜8.0%）。しかも、きちんと治療がなされないと大人になって再発したり、対人関係や社会生活での障害が持ちこされてしまったりすることも少なくありません。正確に診断されて適切な治療と予防がなされることがとても大切です。

どんな症状？

子どものうつ病の基本症状は原則として大人と同じです。

うつ病が脳内物質の不足からくる「脳の病気」であるという側面を考えると、年齢を超えて症状が同じであることは納得できると思います。アメリカ精神医学会の診断基準であるDSM-IVでは、主症状として①抑うつ気分、②興味・喜びの喪失、副症状として③食欲不振、体重減少、④睡眠障害、⑤焦燥感または行動制止、⑥疲れやすい、気力減退、⑦無価値感、罪責感、⑧思考力・集中力減退、決断困難、⑨自殺企図をあげています。このうち5つ以上（少なくとも1つは主症状）が2週間持続し、病気になる前の機能の障害を起している状態を「大うつ病性障害」と定義しています。

子どもの場合、①の抑うつ気分はイライラした気分であっても、③の体重減少は成長期に期待される体重増加がみられないことでも「うつ病」と認められるとされています。

子どもに出やすい症状は？

子どもは落ち込んだ気持ちや言葉を表現することがうまくできないので、イライラ感、身体症状の訴え（頭痛や腹痛など）、不登校などの社会的なひきこもりなどで症状を出すことが多いようです。また、うつ病だけではなく「不安障害」「摂食障害」「注意欠陥多動性障害」「行為障害」などと一緒に合併していることが多いとも言われています。

治療

1 十分な休養

怠けでも性格の問題でも親の接し方の問題でもなく、「うつ病」という身体症状の病気です。休養なくしては他のどんな治療も成功しません。

2 薬物療法

大人と同様に薬での治療が原則で、抗うつ薬がよく効きます。大体3週間ぐらいでずいぶん楽になると言われています。しかし薬になってもしばらくの間服用を続ける必要があります。子どもには特に副作用に注意しながら使います。

3 精神療法

一般的には治療者（医師）が行う面接のことを指すことが多いですが、集団でやるものもあります。また、認知行動療法や対人関係療法といった名前の付いたやり方もあります。

4 心理社会的（教育的）アプローチ

病気や治療の原則理解を深める教育などを行います。

5 家族へのアプローチ

家族の協力はとても大切です。対応の仕方を話しあったり情報を交換したりしながら協力して治療をすすめます。

病棟紹介😊

執筆者：看護部 看護師 曾我部 美鈴



南3病棟

平成20年に新築した南棟の3階に位置する南3病棟は、成人患者さんの病床20床と、児童・思春期ユニットと称する20歳未満の患者さんの病床20床で構成された男女混合の閉鎖病棟です。

ユニットに入院している方たちの年齢層は、小学校高学年から19歳までと幅広く、疾患も、発達障害、適応障害、摂食障害、強迫性障害、自閉症などさまざまで、不登校や引きこもりを伴っているケースも少なくありません。ユニットという小集団の中で他の患者さんの影響を受けたり、医療スタッフと関わるなかで社会的な経験を積み、心の成長を育んでもらえればと思っています。

それには、成長、発達、生育歴などに応じた関わりと、個別性、自立性に配慮した治療環境を整

えることが大切と考えます。

医師、看護師、精神保健福祉士、臨床心理士、作業療法士のほかに、薬剤師、管理栄養士などがそれぞれの専門性を発揮しながら、薬物療法、精神療法、作業療法、ミーティングなどの治療プログラムへの参加、学習支援、栄養指導、服薬指導などを行っています。

また、家庭や学校、施設、他関係機関と密に連携をとり情報を共有することも、患者さんが「安心と自信」を取り戻し、家庭や地域社会でその人らしく生活できるようにするために大変重要であることも痛感しています。

一方、一般病床には、病状が安定しない、退院先が決まらない、退院への不安が強いなど、さまざまな理由で入院が長期化している方もいらっしゃいます。地域で生活して



いただくために、薬や金銭、症状の自己管理、心理教育、体験デイケア参加、退院前ミーティング（ケースによっては地域保健師・福祉関係者などを交える）の開催、退院前訪問など、多職種で多面的な援助を行っています。

まだまだ、ハード面、ソフト面とも、改善を要するところがたくさんありますが、『心を病む人の立場に立った専門的精神科治療の提供を行う』という当院の病院理念を胸におき、努力していきたいと思っています。

障がいを持った当事者の家族だからこそわかる生活のしづらさや悩みがあります。「向陽台そよ風家族会」は、その悩みを分かち合い、解決への道をともに考える家族のための組織で、①患者さんを主体に考える ②知識を身につける ③情報の交換…ということを趣旨に活動しています。ぜひご参加ください。詳しくは向陽台病院のソーシャルワーカーにお尋ねください。

そよ風家族会 通信

次回の家族会

- 平成24年1月28日(土) 10:00~12:00
- テーマ：家族交流会

臨床心理のしごと

執筆者：リハビリテーション部 臨床心理士

濱本 晋也／渡邊 美帆



臨床心理科は こんなところ

臨床心理科は作業療法科、精神保健福祉科、デイケア科から構成されるリハビリテーション部（総勢43名）の中にあります。スタッフ数は8名と、部の中での数は少ないのですが、それぞれの個性を時にキラリと放ちながら、日々の臨床活動を行っています。

児童精神科を標榜していることもあり、当院を新規に受診される患者さんの約40%は20歳未満の方で、平成22年度

は739名のうち281名でした。心理士は、20歳未満の方の初診時に、最初にくわしく話をお聞かせします。また、患者さんによって多少の違いはありますが、①発達・知能検査、②抑うつ気分・測定、③ストレス場面での対処パターンの把握、④家族への質問調査など、数多くの心理検査を実施しています（年間2000件程）。最近では、問題となっていた症状の背後に、発達のな特徴が隠れていることが多い傾向があり、このような検査の組合せとなっています。時々誤解される人がいらっしゃいますが、心理検査はその人の全てが判るわけではありません。あいまいだった輪郭を少し明確にし、治療が必要なのか、必要ならどのような治療をするのかの1つの判断材料になるものです。

病棟では、摂食障害・うつ病・発達障害・アルコール依存症といった疾患別の治療プログラムや、新入院患者・PS（patient-staff）・コミュニケーションなど、さまざまなミーティングの司会もしています。他の患者さんがいる中で、少し力

「臨床心理士」ってどんなひと？

臨床心理士とは、患者さん（クライアント）、相談者など呼び方は職場によって変わりますが、患者さん自身で自分の症状、課題に対処していただけるようお手伝いするのが仕事です。具体的には、①心理検査、②カウンセリング、③グループのリーダーなどの業務です。心理検査で性格や物事の捉え方の特徴を捉える、カウンセリングで気持ちの整理をしていく、グループで対人交流の橋渡しをするなど、患者さんとの心の共同作業をとらして、患者さんが自分を見つめ直し、主体的に人生を生きっていく力を身に付けるためのサポート役だとお考えください。①③の業務以外にも、④地域・組織援助として病院外の施設、機関と協力すること、⑤研究活動（論文発表など）を行うことも臨床心理士の重要な仕事とされています。また、当院のような医療領域で働く臨床心理士以外に、スクールカウンセラーといった教育領域で働く心理士、児童相談所などの福祉領域で働く心理士、企業など産業領域で働く心理士もいます。

を借りながら自分の意見を言えるようになったり、反対に、我先にと話したがついていた患者さんが、周りの様子を見たり、時には他の人からたしなめられたりしながら、自分の病状をコントロールしていける姿には驚かされることも多い

です。

また、入院・通院の方に対して、本人の希望や医師の指示によって、個別のカウンセリングも実施しています。一生続くと考えられる心の成長のお手伝いになれば、と心理士一同、日々がんばっています。

こもれびぷらざ

向陽台病院の最新ニュースやお知らせなどを
お届けします。

精神保健福祉大会に参加

リハビリテーション部 臨床心理士 杉本 千佳子



まだまだ暑さが残るなか、10月7日（金）に患者さん23名とスタッフ3名で精神保健福祉大会へ参加してきました。

今回はホテル熊本テルサで行われたので、水前寺公園を観光してから会場に向かうことにしました。水前寺公園は熊本の名所ですが、「小学生の時行ったことがあるけど、最近行ってない」「初めて行く」というメンバーも意外と多く、皆さん楽しみにしていたようです。水前寺観光センターで「水前寺古今ご膳」を堪能し、お土産屋さんを見て回りました。公園内は緑がとて綺麗で鯉にえさをやったり、散策をしたり、と思いいきにすごしました。その後、一ノ瀬たけしさん父子の講演を聞きました。以前当院の文化祭に来ていただいたことがあり、なんだか親近感もあり楽しみにしていました。壮絶な闘病生活、家族

の葛藤や思い、高次脳機能障害を抱えながらの歌手活動についていろいろと話を聞くことができました。最後は一ノ瀬さんの歌も聞くことができ、とても感動しました。細かいスケジュールで少々疲れましたが、秋を満喫できた1日でした。



こもれびりレー-Iッセイ

● 第4回：看護部 看護部長 南 精治

昨年を振り返って、そしてこれから…

看護部の昨年を振り返ると、私にとっては激動の1年だったように感じます。

毎月、何らかのできごとがあり、10月には九州精神保健学会が開催され当院から7症例の発表ができ、そのうち看護部からは2例発表しました。病院目標として、教育の充実が掲げられており、患者さんと関わっている中での貴重な体験が発表できてとても良かったと感じています。11月には当院で九州集団療法研究会を開催することができました。雨の中にも関わらず、九州各県から150名以上の方に参加していただき、院長の特別講演、施設見学、各分科会と、無事終了することができました。職員全員が協力し目標が達成でき、ある意味充実した1年であったように思います。

看護部長の大役を受けて1年が過ぎようとしている今、改めて病院の理念を考えてみようと思います。『心を病む人の立場に立った専門的精神科治療の提供を行う』。私はよく、「精神の病になった方は症状の面はあるけれど、その人は、人として何も変わることのない存在である」と言っています。看護師は患者さんとともに活動することを通じて、いきいきとその人が望む生活を送ることができるよう支援する役割を担っています。患者さんのペースに合わせて日常生活を補うとともに、患者さんの健康な側面を十分に活かすことができるように配慮すること、同時に、自分の力で歩きはじめた患者さんを支え、患者さんの自立への新しい試みを励ましていく。こういう援助が精神科看護の専門性ではないかと考えます。

このような看護が提供できるよう、各職種が協力して、これからも努力していくことが大切だと思っています。

▼次回予告 精神保健福祉科・岩井科長にバトンタッチ

診療のごあんない

- 診療科目：精神科・心療内科・児童精神科
- 特殊外来：児童思春期（発達障害）外来
もの忘れ外来
- 病床数：220床
- 外来診療時間
【月～金曜日】 午前 9時40分～12時
午後 2時30分～4時
【土曜日】 9月より休診になりました

祝日は平常どおり診療しています

交通アクセス

- 産交バス 向坂バス停から徒歩3分
 投刀塚バス停から徒歩3分
-
- 車  植木ICから10分
-
- JR  植木駅下車 → タクシーで6分

アクセスマップ



初めて受診される方へ

当院は**予約制**です。
 初めての方は、**地域連携室**へお電話ください。

☎ **096-272-5250**

電話受付時間

平日 9:00～16:30

電話の際、①**お名前** ②**相談内容** ③**連絡先** などをおうかがいし、予定の日時を決めます。

当日の所要時間は問診や診察、検査などを含め、**2時間**程度とお考えください。

動向を探る 向陽台病院を利用されている患者さんの動向を掲載しています。

集計月	外来延数	新患者数	1カ月ごとの入退院者数	
			入院	退院
2011年 9月	2,612	58	36	29
2011年 10月	2,477	53	39	50
2011年 11月	2,566	65	42	42

(単位：人)

「こもれび」に関するご意見・感想をお待ちしています！



私たちは「こもれび」をととして、皆さまに役立つ情報をお届けできればと作成しています。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。(向陽台病院 広報委員会)

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
 今年は4月に政令指定都市へと移行予定です。それに伴った新しい情報も広報誌をととしてお伝えできればと思っています。今年もよろしく願っています。
 (大嶋 裕美)

外来担当医表

土曜日は休診です

※2011年12月15日現在の内容です。

※担当医は予告なく変更になることがあります。

	月	火	水	木	金
午前	横田	松本	村上	田仲	松本
		野本	田仲	牛島	北
			大石		
午後 予約	小山	北	大石	村上	佐藤
			菊川	牛島	

病院理念

心を病む人の立場に立った専門的精神科治療の提供を行う
地域への精神科医療の啓発活動を通じて心を病む人のみならず、地域住民の心の健康増進に貢献する

- 地域の様々な資源との連携の強化を目指します
—医療・福祉・教育・産業・地域社会と積極的な連携が出来るように—
- 良質で安全な医療の提供を目指します
—相手の立場に立ち、私達が安心して自分の家族を任せられるように—
- 専門性を高め、より高度な知識・技術の向上を目指します。
—新しい技術・知識の習得、研鑽を心がけるように—

患者の権利

1. 良質な医療サービスを平等に受ける権利があります。
2. 人格・意思が尊重され、人間としての尊厳を守られる権利があります。
3. 自分自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
4. 医療従事者から説明を受けた後に、提案された診療計画などを自分で決定する権利があります。
また、他の医療機関の医師の意見（セカンド・オピニオン）を求める権利があります。
5. プライバシーを尊重される権利があります。



医療法人横田会 向陽台病院

〒861-0142 熊本県熊本市植木町鎧田1025
TEL: 096-272-7211 FAX: 096-273-2355

<http://www.koyodai.or.jp/>



当院は、2005年から財団法人日本医療機能評価機構の認定を受け、2010年にVer.6.0で再認定されています。



当院は「情報公開レベル優良施設」として、はとはあと評価（認定3/Stage-1）の第三者評価認定を受けています。

● 日本精神神経学会専門医研修指定病院 ● 日本精神科病院協会認定専門医研修病院